

令和3年度（2021年度）高等学校教育課程熊本県研究協議会
総合的な探究の時間

地域と連携した探究活動によって
グローバル人材・グローバル人材を育成するカリキュラムの構築

～SDGsの達成を目指した地域活動と課題研究を実現させる

指導と評価のあり方について～



熊本県立八代高等学校

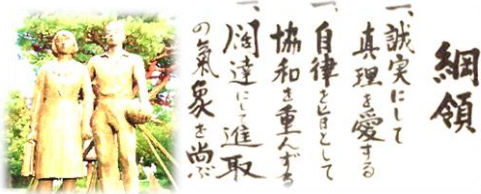
2021.08.26



研究主題 地域と連携した探究活動によってグローバル人材・グローバル人材を育成するカリキュラムの構築
～SDGsの達成を目指した地域活動と課題研究を実現させる指導と評価のあり方について～

目指す生徒像

- ▶志を高く持ち、自ら学ぶ生徒
- ▶心身ともに逞しく、豊かな人間性を備えた魅力ある生徒
- ▶他者への思いやりを大切に、社会に貢献できる生徒



The sky is the limit.
可能性は無敵大

学校目標「グローバル人材の育成」

本校の考えるグローバル人材 国際社会の多様性を理解する人権感覚を身に付け、他者とのコミュニケーションを円滑に維持しながら、協働的、発展的に物事を遂行する人材



実践的英語活用能力の育成

- ◆**知の触発プログラム** 各分野で活躍する方の講演会等
- ◆**グローバル・アクションプログラム** 生徒の自主的な社会貢献活動や各コンテストやイベントへの参加等
- ◆**グローバル・リサーチプログラム** 「総合的な探究の時間」における探究活動と論文作成
- ◆**実践的英語活用能力の育成** 即興型英語ディベート、海外研修等

新しいものさし～SDGs～

- ・SDGsの視点を持つことで、多様な物事のつながりに気づき、現代社会の課題を発見し、自らに関わる課題として意識し、分析・考察し、解決の方法を模索する糸口を得ることができる。
- ・オンラインの活用により、国内のみならず海外の高校生とも交流し、SDGsを共通課題として探究活動にも取り組む。



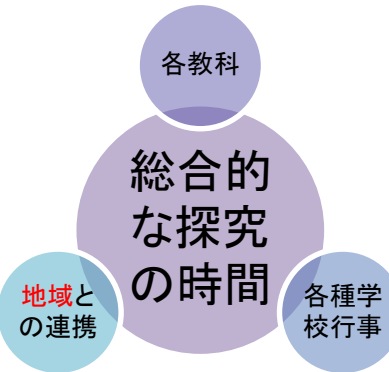
上図はSDGsとCOVID-19をテーマにスロバキアの高校生と本校生徒が昨年度共同制作した壁画

令和3年度

- (1) 課題探究活動を深化させるカリキュラム(2年次)の開発
- ・1年次での課題研究の学習内容の系統性を維持しつつ、2年次の課題研究を深化
- (2) 評価規準・評価方法の確立
- ・5つの多面的評価(①教師による観察, ②成果物による評価, ③相互評価, ④アンケート, ⑤ルーブリック評価)を実施し、生徒が多くの気づきを得て、自らの学びを改善できるような評価の仕組みを設計

令和2年度

- 課題への気づきと課題に対する当事者意識の喚起を促すカリキュラム(1年次)の開発
- ・SDGsに対する当事者意識を喚起するワークショップの開発と実施
- ・SDGsに対する当事者意識を強化する課題探究と地域活動プログラムの開発と実施
- ・**地域**活性化事業や環境保全事業等に取り組んでいる団体や企業や行政との連携



本年度、左の2つを目標としながら、総合的な探究の時間が各教科、各種学校行事、**地域**との連携において有機的に機能する組織的指導体制の確立を目指す。

高校1年次

オリエンテーション

SDGsを学ぶ

新しいものの見方を知る

新聞でSDGs

SDGsで学問研究

1
学期

SDGsで課題発見

新しいものの見方を活用する

データでSDGs

課題発見ライブラリー(選択講座)

新書を読んでレポート作成

知の触発プログラム

RESASで地域の課題発見

課題研究 コース別プロジェクト

リサーチ+アクション

コース別プロジェクト

地域の方々との意見交流会

ポスターセッション

2、
3
学期

振り返り・次年度に向けて

高校2年次

オリエンテーション

SDGsで課題発見Ⅱ 新しいものの見方を活用する

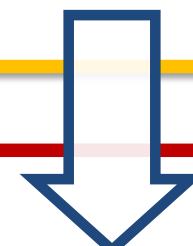
新聞で課題発見(春休み課題)

新書を読んで課題発見

「問い」の立て方学習

先生たちとの相談会/夏のリサーチ活動計画

1
学期



課題研究プロジェクト 八代(県南)地域 まちづくりプロジェクト

課題研究プロジェクト

中間報告会

課題研究発表会

振り返り

2,
3
学期

評価の観点		八代高校で育成したい資質・能力
A	知識・技能	(探究する力)・情報を収集し整理する力・物事を多角的に見る力 (表現する力)・要約する力・コミュニケーション能力・プレゼンテーション能力・構成する力 (協働する力)・協力する力 (学びに向かう力)・責任感
B	思考力・判断力・表現力	(探究する力)・物事の連関を捉える力・課題を解決する力 (表現する力)・効果的に伝える力・論理的に伝える力・コミュニケーション能力・プレゼンテーション能力
C	学びに向かう力・人間性等	(協働する力)・地域と関わる力・多様な他者と協働する力・協働して社会に貢献する力 (学びに向かう力)・主体性・当事者意識・創造性・使命感

評価方法：①教師による観察、②成果物評価、③相互評価、④アンケート、⑤ルーブリック評価

※②…ワークシート、ノート、感想文、計画表、論文・報告書、作品などの制作物

1年次

取組内容	資質・能力	評価方法	備考
新聞活用	A,C	①②③	①→C主体性 ②→A物事を多角的に見る力 ③→Aコミュニケーション能力・プレゼンテーション能力
講演会	A,C	①②	①→C主体性 ②→A物事を多角的に見る力
課題発見ライブラリー	A,C	①②	①→C主体性 ②→A物事を多角的に見る力
新書を読む	A,B,C	①②③	①→C主体性 ②→A物事を多角的に見る力 ③→B構成する力
コース別プロジェクト(調べ学習・話し合い)	A,B,C	①②③	①→C主体性、C地域と関わる力 ②B物事を多角的に見る力 ③→Aコミュニケーション能力・プレゼンテーション能力
コース別プロジェクト(中間発表会)	A,B,C	①②③	①→C主体性・当事者意識 ②→A物事の連関を捉える力 ③→B効果的に伝える力
到達度の把握	A,B,C	④⑤	④⑤によって、資質・能力の到達度を把握する。
コース別プロジェクト(調べ学習・話し合い)	A,B,C	①②③	①→C主体性・当事者意識、C多様な他者と協働する力 ②→B物事の連関を捉える力 ③→Aコミュニケーション能力・プレゼンテーション能力
コース別プロジェクト(ポスターセッション)	A,B,C	①②③	①→C主体性・当事者意識 ②→A物事の連関を捉える力 ③→B効果的に伝える力
年間振り返り	A,B,C	④⑤	④⑤によって、資質・能力の1年間を通しての到達度を把握する。

2年次

取組	資質・能力	評価方法	備考
新聞活用	A,B,C	①②③	①→C主体性・当事者意識 ②→B物事の連関を捉える力 ③→Aコミュニケーション能力・プレゼンテーション能力
新書を読む	B,C	①②	①→C主体性・当事者意識 ②→B物事の連関を捉える力
講演会	B,C	①②	①→C主体性・当事者意識 ②→B物事の連関を捉える力
リサーチ活動	B,C	①②	①→C主体性・当事者意識 ②→B物事の連関を捉える力、C多様な他者と協働する力
リサーチ活動報告会	A,B,C	①②③	①→C主体性・当事者意識 ②→B物事の連関を捉える力、C多様な他者と協働する力 ③→Aコミュニケーション能力・プレゼンテーション能力
個人研究	A,B,C	①②③	①→C主体性・創造性・使命感 ②→B物事の連関を捉える力、C多様な他者と協働する力 ③→Aコミュニケーション能力・プレゼンテーション能力
個人研究中間報告会	A,B,C	①②③	①→C主体性・創造性・使命感 ②→B課題を解決する力、C協働して社会に貢献する力 ③→Aコミュニケーション能力・プレゼンテーション能力
到達度の把握	A,B,C	④⑤	④⑤によって、資質・能力の到達度を把握する。
個人研究	B,C	①②③	①→C主体性・創造性・使命感 ②→B課題を解決する力、C協働して社会に貢献する力 ③→B論理的に伝える力
個人研究発表会	B,C	①②③	①→C主体性・創造性・使命感 ②→B課題を解決する力、C協働して社会に貢献する力 ③→Bコミュニケーション能力・プレゼンテーション能力
年間振り返り	A,B,C	④⑤	④⑤によって、資質・能力の1年間を通しての到達度を把握する。

1年生 6月 課題発見ライブラリー(選択講座)

学習内容

地域の方々による出張授業
「地域の大人の本気に触れる」(選択講座)

目標

地域で活躍されている方々の話を聞いたり、現代社会の課題に関わる書籍を読んだりすることを通して、社会への関心や課題意識を喚起する。

評価の方法

観察
ワークシート



講師: やつしるぶみ 講師長 江崎博義さん 授業タイトル: 八代の訪れるもの(人・場所)を探して記事にしよう 講座Ⅱ(後半) 2021.06.18 会場: 高1-6教室

① 講演の内容や、グループワークの内容を書こう。

(八代と関わりが深い、八代と関わりが深い、八代と関わりが深い)

印字費
人件費
印刷費

誇らしい → 他に「合理解」で見れる事ばかりでは
・ 地域の歴史
・ 異業種連携
・ イベントの紹介

② 講演の内容は、SDGsのどの目標の達成につながるだろうか。関連する目標に○をつけよう。

1 貧困をなくそう 2 飢餓をゼロに 3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を実現しよう
6 安全な水とトイレを世界中に 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
10 人や国の不平等をなくそう 11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任と消費 13 気候変動に具体的な対策を
14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさを守ろう 16 平和と公正をすべての人に 17 パートナリーシップで目標を達成しよう

③ ~「誰一人取り残さない」ための3つの視点~

講演の内容は、経済や環境、社会にどのような影響を与える内容だろうか。当てはまる項目のプラスの効果を書いてみよう。

※外国人労働者の増加について講演があった場合の例
(経済) 外国人労働者は、労働力不足の日本経済を支えてくれる可能性を秘めている。
(環境) ...
(社会) 多様性は日本の文化を豊かにし、誰もが暮らしやすい社会を作ることにつながる。

日本や世界の経済に、どのような影響を与える内容だろうか?
(経済) 八代の発展が期待される

日本や地球の自然環境に、どのような影響を与える内容だろうか?
(環境) X

経済と環境以外の視点から、人々の日常生活にどのような影響を与える内容だろうか?
(社会) 八代の歴史、イベントなどによる地域社会

④ 講演を聴いて、勉強になったことを書こう。

八代に存在がありながら周知されておらず、
近道せずに100%と出てくるのは何れもなら
ないかと、八代が100%の記事を見たと、
八代についてくわしくなれると思えて、学べた
と思えた。

⑤ 講演を聴いて、あなたは何かをしたい-何ができると
感じただろうか? 今後の行動目標を書こう。

自分の住むこと、八代について自分の
住みたいことを記事にすれば、
いいと思えた。

講座Ⅰ、講座Ⅱを振り返って、到達度を○で囲もう。

① 地域の現状や課題を、SDGsとの関連を意識しながら捉えることができた

② 未来のために自分たちができることをやってみようという意欲が高まった

できなかった できた すごくできた

印

2年生 6~7月

先生たちとの相談会/夏のリサーチ活動計画

学習内容

- ①各々で立てた探究テーマについて教員と話し合う。
- ②夏のリサーチ活動計画を立案する。

目標

- ①探究テーマを探究活動に堪えるテーマへとアップデートさせる。
- ②見通しを立てて探究活動を進めさせる。

評価の方法

- 観察
- ワークシート



高2探究「夏のリサーチ活動計画」 2021.06.11~07.09

面談者印

*探究の授業中の、先生と相談をする時間以外の時に書き進めよう。

- 1. 自分のテーマ（相談会后）を書こう。

八代の防災状況について

- 2. 1. のテーマを探究することは、SDGsのどの目標の解決に繋がるだろうか。関連すると思う目標に○を付けよう。



貧困をなくそう 2 気候変動をゼロに 3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を実現しよう 6 安全な水とトイレを世界中に 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 10 人や国の不平等をなくそう 11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を 14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさを守ろう 16 平和と公正をすべての人に 17 パートナリシップで目標を達成しよう

- 2. 【探究論文計画書】を書こう。

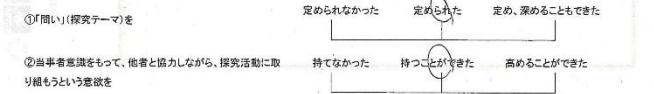
- 1. 探究活動のキーワード

防災、ハザードマップ
 2. 論文の要旨(仮説を立て、それを検証することを意識しよう)
 ○のついたら、10月の大水害報を避けてくることが、避けてくれないから、
 →先んじて考えて行動する。体が不自由な方が家から出るのが、
 1人1人が危機意識を持って生活したと警報が来たとき避難する
 と思う。
 昨今の高齢者の災害への被害について調べた。
 ハザードマップについて研究する

- 3. 検証(研究方法)

いつ?
 夏休み
 どこで?
 八代
 市役所
 誰に?
 市役所の人
 (被害者の方)
 どのような方法で?
 インタビュー

「先生たちとの相談会」「夏のリサーチ活動計画」を振り返って、到達度を○で囲もう。



()年()組()号 氏名() 確認した日()年()月()日

総合的な探究の時間 到達レベルを 確認しよう	高3				
	高2				
	高1				
	※	I	II	III	IV
(1)知識・技能 (2)思考力・判断力・表現力等 (3)学びに向かう力・人間性等	少々苦手レベル	高1前半までに到達することを目指したいレベル	高1終了時までに到達することを目指したいレベル	高2終了時までに到達しつつあることを目指し、高3終了時までに到達することを目指したいレベル	高校生の中で高い実力があると考えられるレベル
1 探究する力	文献やインターネットを使って情報を収集することが少しできる。	【情報を収集し整理する力】 文献やインターネット、インタビュー等で情報を収集し、まとめることができる。	【物事を多角的に見る力】 物事を、SDGsとの関連や社会との繋がり等、いくつかの視点で捉えることができる。	【物事の連関を捉える力】 社会の課題を捉え、調査内容と身近なことや社会の事象を関連づけて考察することができる。	【課題を解決する力】 実社会や実生活と自己との関わりから問を見いだして課題を設定し、調査内容を多角的に考察して、具体的な解決策を提案することができる。(解決策を試行することができる。)
2 表現する力 (1)要約・構成・工夫・論理性	伝えたい内容をまとめることが少しできる。資料からの引用と自らの意見との区別が曖昧である。	【要約する力】 伝えたい内容を読み手に伝わるようにまとめることができる。参考にした資料等を明示することができる。	【構成する力】 伝えたい内容を、表や図を用いて、読み手にわかりやすいようにまとめることができる。	【効果的に伝える力】 伝えたい内容を、表や図を工夫して、読み手の関心をひくようにまとめることができる。	【論理的に伝える力】 最も伝えたい内容が何であるかが読み手にすぐわかるようなまとめ方をすることができる。内容を、論理的に構成し、説得力をもたせることができる。
(2)コミュニケーション プレゼンテーション	自らの声で情報を伝えようという気持ちを持っている。	【コミュニケーション能力 ・プレゼンテーション能力】 情報をうまく伝えることができていないところも少しあるが、取り組みの内容を伝えようとする気持ちを持っている。	【コミュニケーション能力 ・プレゼンテーション能力】 取り組みの内容を伝えようとする気持ちを持っており、伝えたい内容を伝えることができる。	【コミュニケーション能力 ・プレゼンテーション能力】 取り組みの内容を伝えたいという強い気持ちを持っており、適切な声の大きさや速さで、聞き手に正確に伝えることができる。	【コミュニケーション能力 ・プレゼンテーション能力】 取り組みの内容を伝えたいという強い気持ちを持っており、専門用語等も正確に用いて、的確で聞きやすい説明をすることができる。
3 協働する力	協力することが少しできる。	【協力する力】 班で協力して探究の取り組みをまとめることができる。	【地域と関わる力】 校内外の人たちと繋がりながら探究に取り組み、取り組んだ内容を仲間と協力してまとめることができる。	【多様な他者と協働する力】 校内外の人たちと繋がり、他者の意見を取り入れながら、探究に取り組むことができる。	【協働して社会に貢献する力】 自分の強みと弱みを理解して他者と繋がり、互いの良さを生かしながら探究し、社会に影響を与える活動に取り組むことができる。
4 学びに向かう力	与えられたことに取り組むことが少しできる。	【責任感】 自分の分担として与えられたことに責任をもって取り組んでいる。	【主体性】 探究に主体的に取り組もうという気持ちをもっており、自らのすべきことに積極的に取り組んでいる。	【主体性・当事者意識】 探究に主体的に取り組む、他者と協働しながら、地域の発展や社会の課題解決を目指している。	【主体性・創造性・使命感】 探究に主体的・協働的に取り組み、互いの良さを生かしながら新たな価値を創造し、よりよい社会の実現を目指している。

内容のまとめ

熊本県立八代高等学校 総合的な探究の時間の指導と評価計画

内容のまとめ			
探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力			
(1) 知識及び技能	(2) 思考力、判断力、表現力等	(3) 学びに向かう力、人間性等	
<p>探究する力</p> <p>【物事を多角的に見る力】 物事を、SDG sとの関連や社会との繋がりが等、いくつかの視点で捉える力。</p> <p>表現する力</p> <p>【要約する力】 伝えたい内容を読み手に伝わるようにまとめる力。参考にした資料等を明示する力。</p> <p>【構成する力】 伝えたい内容を、表や図を用いて、読み手にわかりやすいようにまとめる力。</p> <p>【コミュニケーション能力・プレゼンテーション能力】 まとめた内容を聞き手に正確に伝える力。</p> <p>協働する力</p> <p>【協力する力】 班で協力して探究の取り組みをまとめる力。</p> <p>学びに向かう力</p> <p>【責任感】 課題に対して計画的、かつ責任を持って取り組む力。</p>	<p>探究する力</p> <p>【物事の連関を捉える力】 社会の課題を捉え、調査内容と身近なことや社会の事象を関連づけて考察する力。</p> <p>【課題を解決する力】 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだして課題を設定し、調査内容を多角的に考察して、具体的な解決策を提案する（解決策を試行する）力。</p> <p>【情報を収集し整理する力】 文献やインターネット、インタビュー等で情報を収集し、まとめる力。</p> <p>表現する力</p> <p>【効果的に伝える力】 伝えたい内容を、表や図を工夫して、読み手の関心をひくようにまとめる力。</p> <p>【論理的に伝える力】 最も伝えたい内容が何であるかが読み手にすぐわかるようなまとめ方をする力。内容を、論理的に構成し、説得力をもたせる力。</p> <p>【コミュニケーション能力・プレゼンテーション能力】 専門用語等も正確に用いて、的確で聞きやすい説明をする力。</p>	<p>協働する力</p> <p>【地域と関わる力】 校内外の人たちと繋がりがながら探究に取り組み、取り組んだ内容を仲間と協力してまとめる力。</p> <p>【多様な他者と協働する力】 校内外の人たちと繋がりが、他の意見を取り入れながら、探究に取り組む力。</p> <p>【協働して社会に貢献する力】 自分の強みと弱みを理解して他者と繋がりが、互いの良さを生かしながら探究し、社会に影響を与える活動に取り組む力。</p> <p>学びに向かう力</p> <p>【主体性】 探究に主体的に取り組もうとする気持ちをもっており、自らのすべきことに積極的に取り組む力。</p> <p>【主体性・当事者意識】 探究に主体的に取り組む、他者と協働しながら、地域の発展や社会の課題解決を目指す力。</p> <p>【主体性・創造性・使命感】 探究に主体的・協働的に取り組み、互いの良さを生かしながら新たな価値を創造し、よりよい社会の実現を目指す力。</p>	

地域を知り、地域と連携した探究活動を行うことによって、グローバル人材・グローバル人材を目指す

内容のまとめりごとの評価規準

探究課題	内容のまとめりごとの評価規準		
	評価の観点		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>地域を知り、地域と連携した探究活動を行うことによって、グローバル人材・グローバル人材を目指す</p>	<p>探究する力</p> <p>【物事を多角的に見る力】 物事を、SDG sとの関連や社会との繋がりが等、いくつかの視点で捉えることができる。</p> <p>表現する力</p> <p>【要約する力】 伝えたい内容を読み手に伝わるようにまとめることができる。参考にした資料等を明示することができる。</p> <p>【構成する力】 伝えたい内容を、表や図を用いて、読み手にわかりやすいようにまとめることができる。</p> <p>【コミュニケーション能力・プレゼンテーション能力】 まとめた内容を聞き手に正確に伝えることができる。</p> <p>協働する力</p> <p>【協力する力】 班で協力して探究の取り組みをまとめることができる。</p> <p>学びに向かう力</p> <p>【責任感】 課題に対して計画的、かつ責任を持って取り組むことができる。</p>	<p>探究する力</p> <p>【物事の連関を捉える力】 社会の課題を捉え、調査内容と身近なことや社会の事象を関連づけて考察することができる。</p> <p>【課題を解決する力】 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだして課題を設定し、調査内容を多角的に考察して、具体的な解決策を提案する（解決策を試行する）ことができる。</p> <p>【情報を収集し整理する力】 文献やインターネット、インタビュー等で情報を収集し、まとめることができる。</p> <p>表現する力</p> <p>【効果的に伝える力】 伝えたい内容を、表や図を工夫して、読み手の関心をひくようにまとめることができる。</p> <p>【論理的に伝える力】 最も伝えたい内容が何であるかが読み手にすぐわかるようなまとめ方をする力。内容を、論理的に構成し、説得力をもたせることができる。</p> <p>【コミュニケーション能力・プレゼンテーション能力】 専門用語等も正確に用いて、的確で聞きやすい説明をすることができる。</p>	<p>協働する力</p> <p>【地域と関わる力】 校内外の人たちと繋がりがながら探究に取り組み、取り組んだ内容を仲間と協力してまとめている。</p> <p>【多様な他者と協働する力】 校内外の人たちと繋がりが、他の意見を取り入れながら、探究に取り組んでいる。</p> <p>【協働して社会に貢献する力】 自分の強みと弱みを理解して他者と繋がりが、互いの良さを生かしながら探究し、社会に影響を与える活動に取り組んでいる。</p> <p>学びに向かう力</p> <p>【主体性】 探究に主体的に取り組もうとする気持ちをもっており、自らのすべきことに積極的に取り組んでいる。</p> <p>【主体性・当事者意識】 探究に主体的に取り組む、他者と協働しながら、地域の発展や社会の課題解決を目指している。</p> <p>【主体性・創造性・使命感】 探究に主体的・協働的に取り組み、互いの良さを生かしながら新たな価値を創造し、よりよい社会の実現を目指している。</p>

単元において中心となる学習対象や学習活動

思考力、判断力、表現力

知識及び技能

学びに向かう力・人間性等

1 単元の日標

SDGsの視点を取り入れ、地域と連携した探究活動を通して、物事を多角的に捉えることの重要性を理解し、そこから見えてきた他事象との連関や自分自身との関わりについて考察するとともに、多くの人と繋がり、多様な意見を取り入れながら課題を解決することができるようにする。

2 単元の評価規準

単元名	単元の評価規準		
	評価の観点		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
SDGsの視点から八代(県南)地域まちづくりを考える	①探究する力 【物事を多角的に見る力】 八代地域の特色や課題、地域の発展に向けた様々な取組を理解している。また、それらをSDGsの視点で多角的に捉えることができる。	①探究する力 【物事の連関を捉える力】 【課題を解決する力】 八代地域や社会の課題を、SDGsをものさしとして、他の事象と関連づけて考察している。また、地域と自己との関わりから課題を設定し、具体的な解決策を検討している。	①協働する力 【地域と関わる力】 【多様な他者と協働する力】 【協働して社会に貢献する力】 地域の現状や課題を知るため、校内外の人たちと繋がり、自他の意見を取り入れながら探究に取り組もうとしている。
	②表現する力 【要約する力】【構成する力】 【コミュニケーション能力・プレゼンテーション能力】 取り組みの内容を適切な手段でまとめ、発表会等への準備を計画的に行うことができる。	②探究する力 【情報を収集し整理する力】 新聞記事や新書、インターネット(RESAS)等を活用し、必要な情報を得ている。	②学びに向かう力 【主体性】 【主体性・当事者意識】 【主体性・創造性・使命感】 探究に主体的に取り組み、他者と協働しながら、地域の発展や社会の課題を解決し、より良い社会の実現を目指そうとしている。
	③協働する力【協力する力】 【学びに向かう力】【責任感】 社会貢献への意識の高まりは、仲間と、あるいは個人で行う探究に責任感を持って取り組んだことの成果であることに気付いている。	③表現する力 【効果的に伝える力】 【論理的に伝える力】 【コミュニケーション能力・プレゼンテーション能力】 調べた内容や提案内容を、表や図を用いるなど工夫しながら、論理的にまとめている。また、まちづくりへの強い気持ちを他者へ伝える効果的な発表、ポスター作成ができる。	

3 指導と評価の計画 (全35時間)

1 年次				
小単元名 (時数)	ねらい・学習活動	知	思 態	評価方法
SDG s を学ぶ あたらしいものの見 方を知る (6)	新聞でSDG s SDG s を意識して新聞記事を読み、さらに、他の人と意見を交流することによって、ものの見方・考え方を広げたり深めたりし、現代社会の抱える課題を明確に捉える機会とする。	①		・教師による観察 ・成果物 ・相互評価
	SDG s で学問研究 SDG s の視点で大学の学問を見ることを通して、学問が社会と繋がっていることや、大学で社会問題の解決に貢献する力を身につけることができることを知り、自らの進路を考える機会とする。	③		・教師による観察 ・成果物
SDG s で課題発見 新しいものの見方を 活用する (9)	データ活用でSDG s データを用いて自らの住む地域の特徴を分析し、地域の課題を論理的に考察する思考力を養う。また課題解決に向けての方向性を模索する中で、よりよい地域や社会を実現しようとする姿勢や意識を身につける。		②	・教師による観察 ・成果物
	知の触発プログラム グローバル課題に果敢に取り組み、研究・啓発活動やボランティア活動等を展開し、最前線で活躍しているグローバルリーダーによる講演会への参加を通して、社会の課題を自らの課題として捉える機会とする。	①	①	・教師による観察 ・成果物
	課題発見ライブラリー 探究活動に取り組むにあたり、地域で活躍されている方々の話を聞いたり現代社会の課題に関する書籍を読んだりすることを通して、社会への関心や課題意識、知的好奇心を喚起し、自らの探究テーマを見つける機会とする。			
	新書を読んで課題発見 新書を読んで現代社会の課題や筆者の意見を捉え、自己の意見を記すレポート作成に取り組み、それをもとに他者と交流することによって、現代社会の抱える課題に対する興味・関心を高め、ものの見方・考え方を広げることを目指す。	②		・教師による観察 ・成果物 ・相互評価
課題研究 コース別 プロジェクト リサーチ+アクション (20)	コース別プロジェクト SDG s の達成を意識し、地域資源を活用しながら、チームで探究活動に取り組むことによって、「地域の課題に向き合い、これまで学んできたことを総動員して課題を解決する力」、「伝えたい内容を効果的に伝える力」、「当事者意識をもって主体的に課題に取り組む力」を育成する。	②	②	・教師による観察 ・成果物 ・相互評価
	地域の方々との意見交流会 コース別プロジェクトの取り組み経過を生徒同	③	①	・教師による観察 ・成果物

	士で共有したり、地域の方々との意見交流をしたりすることによって、これまでの探究活動を振り返り、今後の活動をブラッシュアップする機会とする。				・相互評価
	ポスターセッション コース別プロジェクトで取り組んだ内容や考察したことを発表資料としてまとめ、発表する。発表会では生徒同士で意見交換をしたり専門家からのアドバイスをもらったりすることによって、考察を深めたり、評価・改善したりする。	③	③		・教師による観察 ・成果物 ・相互評価

2 年次				
小単元名 (時数)	ねらい・学習活動	知	思 態	評価方法
SDG s で課題発見 II 新しいものの見方を 活用する (10)	新聞で課題発見 SDG s を意識して新聞記事を読み、さらに、他の人と意見を交流することによって、ものの見方・考え方を広げたり深めたりし、現代社会の抱える課題を明確に捉える機会とする。	①		・教師による観察 ・成果物 ・相互評価
	新書を読んで課題発見 新書を読んで現代社会の課題や筆者の意見を捉え、自己の意見を記すレポート作成に取り組み、それをもとに他者と交流することによって、現代社会の抱える課題に対する興味・関心を高め、ものの見方・考え方を広げることを目指す。		②	・教師による観察 ・成果物 ・相互評価
	「問い」の立て方学習 「問い」を考えてグループで共有したり、専門家からのアドバイスをもとに再考したりする中で、探究活動に堪えるテーマを考える。		①	・教師による観察 ・成果物 ・相互評価
	先生たちとの相談会/夏のリサーチ活動計画 立案した探究テーマについて教員と話し合うことで、テーマを探究活動に堪えるテーマへとアップデートさせる。また夏のリサーチ活動計画を立案することで、計画性や実行力を養う。		①	・教師による観察 ・成果物
課題研究プロジェクト 八代 (県南) 地域まち づくりプロジェクト (25)	課題研究プロジェクト SDG s の達成を意識し、地域資源を活用しながら、個人ないしはチームで探究活動に取り組むことによって、「地域の課題に向き合い、これまで学んできたことを総動員して課題を解決する力」、「論理的に思考し、それを伝える力」、「当事者意識と使命感をもって、他者と協働しながら主体的に課題に取り組む力」を育成する。	②	②	・教師による観察 ・成果物 ・相互評価
	中間報告会 課題研究プロジェクトの取り組み経過を生徒同士で共有したり、大学生と意見交流をしたりすることによって、これまでの探究活動を振り返り、今後の活動をブラッシュアップする機会とする。	③	①	・教師による観察 ・成果物 ・相互評価